



東海村議会議員一般選挙の投票日は 令和2年1月19日(日)です！

告示日▼令和2年1月14日(火)
投票日▼令和2年1月19日(日)
投票時間▼午前7時～午後6時

立候補届出受け付け

東海村議会議員一般選挙の立候補届出を受け付けます。

期日▼令和2年1月14日(火)

時間▼午前8時30分～午後5時

場所▼原子力視察研修室(役場行政棟5階)

立候補予定者・出納責任者予定者説明会

東海村議会議員一般選挙の立候補の届出や選挙運動に関する説明会を開催します。

立候補を予定している方、立候補予定者の出納責任者となる予定の方は必ず出席してください。

※本人が出席できない場合は代理の方が出席してください。

【立候補予定者説明会】

日時▼12月19日(木)午後1時～

場所▼原子力視察研修室(役場行政棟5階)

【出納責任者予定者説明会】

日時▼12月19日(木)午後3時30分～

場所▼原子力視察研修室(役場行政棟5階)

問い合わせ

東海村選挙管理委員会(総務課内 ☎282-1711 内線1313)

ふるさと歴訪
―自然を探して―

謎めいた生物「地衣類」

皆さんは、左の写真の生物を見たことがありますか。これは、村松小学校の松の木に付着した、地衣類と呼ばれる生物の姿を撮影したものです。見応えのあるものなのですが、あまり目立ちません。また一般の方にはなじみが薄く、これといって関心を持たれないものではないかと思えます。

少し詳しく説明すると、これは、代表的な地衣類である「ウメノキゴケ」の一種です。普段の色は灰白色で、雨に打たれたりすると緑がかった色に変化します。大きさは、さまざまなサイズがあり、直径10～20センチメートルほどになるものもあります。

そもそもこの地衣類という生物、一体何者なのでしょう。普通植物ではないみたいだな「名前にコケと付いているから、コケ(蘚苔類)のようなものかも」「それともキノコやカビ(菌類)の仲間かな」などと考えると、何者なのかよく分からない、謎めいた生物です。

実はこの生物、体は菌類と藻類(植物)が一体となっている特殊なスタイルで、世にも



【ウメノキゴケの一種(村松小学校敷地内)】

地衣類の仲間は、古木や古い建物、そして岩石やコンクリートなどを探せば村内でも見られるものです。この記事を読んだ興味を持った方は、ぜひ探して観察してみてください。そうすると、東海村の自然に対する新たな見方ができると思います。

東海村教科特別指導員

安 敦之

不思議な生き方をしたもののようです。菌類は藻類にすみかを与え、藻類は光合成で得た養分を菌類に与え、お互いが協力し合い、補い合って生きているといった共同生活をしています。何とほほ笑ましくもたくましい生物だと思いませんか。

ちなみに地衣類は、18世紀にスウェーデンの植物学者、エリク・アカリウス(1757～1819年)が発見しました。日本では茨城大学の名誉教授、佐藤正己先生(1910～1984年)がその草分けとして知られています。現在、地球上には約2万種、日本には約1800種の地衣類が生息しているといわれています。